

## 堺市立三国丘中学校 第76回卒業証書授与式

### 学校長 式辞

(次のような内容を骨子として、お話をしました。)

#### ○「子どもは、未完成な大人ではない」(人としてのリスペクトを！)

養老孟司という学者の言葉です。私はこのように解釈しています。私たち大人は「何もかもできるわけでもないのに、未完成なのに」自分たちと比べて、皆さん・子どもたちができないことを探しては、できるようになってほしいと毎日励ましてきました。余計なお世話だったのかもしれませんが。なぜなら、修学旅行や校外学習で、心配する大人たちをよそに、君たちは、色々な課題を楽々と乗り越えていきました。「そんなことできるよ」学校の中で何度このセリフを聞いたことでしょうか。私も確信に変わり「もう分かっているんだよね。それを使う勇気を持てばいいんだよね！sapere aude」と言ってきました。「皆さんは、未完成な大人ではありません」完成された一人の人間として、あらゆることができる能力を完全装備されているのだと思います。「本当は・・・、でも・・・」という“できない理由、やらない理由”を探してしまう大人ではありません。“できること”の無限な可能性に気づき、その能力を自らの力で開花させてほしいと願っています。

#### ○「皆さんは、理想の世界の創り手です。」

理想の世界の実現のために圧倒的な力を持ってほしい。三つの圧倒的な力についてお話をします。

一つ目、圧倒的な想像力・イメージ力→エジソンのお話です。エジソンは、「リトル・ピープル・イン・マイ・ブレイン（頭の中に住む小人）」と話ができたとされています。発想の原点＝リトル・ピープルの声、1%のひらめきがすべての始まりであり、何よりも大切だと言っています。未来の・理想の世界を圧倒的な想像力とイメージする力で思い描いてみましょう！！小人の声が聞こえるかな！？

二つ目、圧倒的な創造力・創り出す力→一つ目で想像したことを、この二つ目の力で作り出しましょう！皆さんが何か始めようとするとき、きっとこんなことを言う人が現れます。「お前には、無理！ やっても無駄！難しい！」耳を貸さないでください！やったことがない人、やり遂げたことがない人、失敗を成功にできなかった人がそんなことを言います。圧倒的な創造力・創り出す力によって、惑わされずに、やり遂げてください！やり通してください！必ずできます！！

三つ目、圧倒的な基礎基本の力→1・2に導くのは、圧倒的な基礎基本の力です。テストの点数の話ではありません。知力・体力や言葉にできない人間力、そして“答えの無い問い”を持ち続け、本質を見極めようとする「哲学」の力のことです。

#### ○「まだ見ぬ一生の友・仲間がいる場所を選択する」

同じ志を持った仲間と過ごすことは、人生の中で何のものにも代えがたい幸せな事だと言われています。これから幾度も訪れる「進路選択・職業選択」は、一生の友・仲間と巡り合う縁だと思えます。岐路に立ったとき、どちらの道を選ぶか迷ったとき、友だち・仲間になりたい人たちがいる場所かどうか、友だち・仲間を通じて、自分を成長させてくれる場所かどうか・・・を規準にすることもいいかもしれません。どうですか？

\*\*\*「幸せで、喜びに溢れた“盛大な人生”を歩まれることを、心から願っています」\*\*\*

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。そして、ご来賓の皆様、ご臨席を賜り御礼申し上げます。これまで、そしてこれからも頂戴するご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後に、来賓の皆様、保護者の皆様にお願ひがあります。この三国丘中学校という学び舎で育ち、この伝統のある「正心館」から巣立っていく子どもたちに、盛大な拍手をもって、エールを送っていただければ幸いです。(拍手) ありがとうございます！あらためて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！